
はろー

嘩月 - ka「d/z」uki -

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
はろー

【コード】
N9954L

【作者名】
嘩月・k a r d / z r u k i

【あらすじ】
.....

明日が広がる闇の中。

薄れて消えていく、その場凌ぎの捏造記憶。

「そら、うみ、ねえ……。」黒く染まる。

ばいばい、今日。

描いた美化した記憶。

不意に刺さってくる鋭利な実像。

ほら、逃げたから行き止まり。

何も無い方がいい。

うずくまった。

「嫌だ」。

その一言だけで全て拒絶出来たらいい。

「嫌いだ」。

想いはずっと奥に塞ぎ込む。

拒絶しきれない現状に喚き、笑いながら手を取り合っていた。

見つけれない記憶。

それは闇の中で見てた明日の夢。

ああ、鏡には何も映らない。

瞳は否定した。

耳を塞いだ。

「消えろ」。

その一言は些細な悪意の綻び。

「死ねばいい」。

未来をずっと胸で押さえ込む。

期待していない明日に愁い、それでも希望が浮いた。

砕いた鏡に映る月、万華鏡。

赫いて、煌めいている。

それは何かな

明日が広がる闇の中。

薄れて消えていく、その場凌ぎの捏造記憶。

「そら、うみ、ねえ……。」黒く染まる。

ばいばい、今日。

「嫌だ」。

その一言だけで全て拒絶出来たらいい。

「嫌いだ」。

想いはずっと奥に塞ぎ込む。

拒絶しきれない現状に喚き、笑いながら手を取り合っていた。

「はろー」。

汚れた心で紡いだ明日と絆の糸。

「はろーでい」。

景色が全て変わって日が昇る。

孤独の意味は解らなかつたけれど、人と居る事の大事さは解ったんだ。

はろー、明日の今日。

もう迷わないよ。

はるー、ばいばい。

もう迷わないからさ。

はるー……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9954/>

はろー

2010年10月10日08時09分発行